

講師略歴（敬称略） 日程順 ※随時更新いたします。

2026年1月27日現在

**迫井 正深（厚生労働省 医務技監）**

1962 年生まれ 広島市出身

1989 年～東京大学医学部卒業、東大病院、虎の門病院等で外科臨床

1992 年 厚生省入省、1995 年 ハーバード大学公衆衛生大学院（M.P.H.取得）

2005 年～大臣官房健康危機管理対策推進室長

2006 年～広島県福祉保健部長（後に健康福祉局長に改組）

2009 年～厚労省復帰後、介護報酬、地域医療計画、診療報酬の担当課長を歴任

2018 年～医政局審議官を経て医政局長

2021 年～新型コロナウイルス等感染症対策推進室長・内閣審議官

2023 年 7 月～厚生労働省医務技監（9 月から内閣感染症危機管理統括庁対策官兼務）

**富山 和彦（株式会社日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役会長）**

ボストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年 産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。2007年 経営共創基盤（IGPI）を設立し代表取締役CEO就任。2020年 日本共創プラットフォーム（JPiX）を設立。

メルカリ社外取締役、日本取締役協会会長。政府関連委員多数、著書多数。

東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、司法試験合格。

**水野 由子（日本政策投資銀行 国際政策銀診療所 所長/東京大学循環器内科、日本人間ドック予防医療学会 理事）**

医師歴29年。東京大学大学院博士課程 修了(医学系研究科内科学専攻)。循環器領域の基礎研究、臨床研究に従事し、米国ハーバード大学でも研鑽を積む。認定医・専門医資格は、日本内科学会 総合内科専門医/指導医、日本循環器学会 循環器専門医、日本人間ドック予防医療学会 理事・専門医/指導医、日本医師会認定産業医。学術研究の査読・審査については、文部科学省科学技術研究費 若手B 審査委員、東京大学工学部 技術経営戦略学専攻博士課程 学位審査委員、英文誌 International Heart Journal、日本人間ドック予防医療学会 和文誌「日本人間ドック・予防医療学会誌」、英文誌Journal of Ningen Dock and Preventive Medical Care、英文誌Scientific Reportsほか多くの査読担当を務める。現在は企業診療所の運営、産業保健の推進に関わるほか、学会理事も兼任し、これまでの循環器病学、予防医学領域の論文、国内外の学会発表は多数。都内有数の人間ドック施設では英語診療を担当し、定評を得ている。

**佐藤 寿彦（株式会社プレジジョン 代表取締役）**

東京大学理学部、千葉大学医学部卒。コロラド大学コロラドスプリングス校経営学修士。コンサルティング会社、医学系出版社エルゼビア・ジャパンなどを経て、2016年にプレジジョンを創業。日本を代表する医師2,000名と一緒に作成した診療支援システムは現在500を超える医療機関で導入されており、2021年からは富士通Japan株式会社との協業を開始。

現在も東京女子医科大学病院の総合診療科で医師として従事。

受賞歴：HealthTech/SUM2021 Best Audience賞・Health 2.0 Dubai Outstanding Leadership Award 2022

**沖山 翔（アイリス株式会社 代表取締役）**

"2010年 東京大学医学部卒業。

日本赤十字社医療センター救命救急科での勤務を経て、ドクターヘリ添乗医、災害派遣医療チームDMAT隊員として救急医療を実践。

石垣島・波照間島の沖縄県立病院や診療所での勤務、また南鳥島・沖ノ鳥島（国交省事業）にて離島医・船医として総合診療に従事。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 AI技術コンソーシアム医用画像ワーキンググループ発起人、救急科専門医、日本救急医学会AI研究活性化特別委員。

2017年にアイリス株式会社を創業。代表取締役。"

**岸本 泰士郎（慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター 教授）**

2000年に慶應義塾大学医学部卒業。精神科医として複数の施設で研鑽を積んだのち、2009年よりThe Zucker Hillside Hospital（New York）にpostdoctoral research fellowとして入職、2012年Donald and Barbara Zucker School of Medicine准教授に就任。2013年に帰国し、慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室専任講師、2021年同大医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座特任教授、2025年同大医学部医科学研究連携推進センター教授に就任、現在に至る。受賞歴として、ポールヤンセン賞、慶應医学賞ライジング・スター賞、フォリア賞など10本以上。

**城山 英明（東京大学公共政策大学院／大学院法学政治学研究科／未来ビジョン研究センター 教授）**

東京大学公共政策大学院／大学院法学政治学研究科／未来ビジョン研究センター教授。専門は行政学で、国際行政論、科学技術と公共政策、政策過程について研究している。主要業績に「国際行政の構造」、「中央省庁の政策形成過程」、「法の再構築Ⅲ科学技術の発展と法」、「国際援助行政」、「科学技術ガバナンス」、「国際行政論」、「科学技術と政治」、「グローバル保健ガバナンス」。2025年度より中央社会保険医療協議会委員。

**大来 志郎（財務省主計局主計官（厚生労働、こども家庭係、社会保障総括担当））**  
東京大学法学部を卒業後、平成10年大蔵省入省。米・プリンストン大学留学、主税局税制一課・二課課長補佐、内閣官房社会保障改革担当室室員、主計局主計官補佐（厚生労働、防衛）、同総務課予算企画室長、財務大臣秘書官、在フランス日本国大使館参事官などを経て、令和6年より現職。

**安川 健司（アステラス製薬株式会社 代表取締役会長）**  
東京大学大学院修了後、山之内製薬（のちに藤沢薬品と合併しアステラス製薬に改称）で開発・戦略部門を率い、社長CEO、会長を歴任。製薬業界団体の要職に加え、日米経済協議会や経団連での役職、日本製薬団体連合会での活動を通じて医療・創薬分野の発展に広く寄与してきた。さらに企業の社外取締役や大学での客員教授など多様な立場で、継続的に貢献している。

**宮柱 明日香（日本製薬工業協会 会長／武田薬品工業株式会社 ジャパン ファーマ ビジネス ユニット プレジデント）**  
2004年 九州大学大学院生物資源環境科学府 農学修士。同年に武田薬品工業に入社。国内でコマーシャルおよびメディカル部門で経験を積み、インドネシアの事業運営責任者として、オンコロジービジネスにおける新製品発売およびアクセス戦略の基盤を構築。ベトナムではカントリー・マネジャーとして管轄地域の事業戦略の構築と変革の推進に従事。2022年よりジャパン ファーマ ビジネス ユニットの神経精神疾患事業部長を務め、2024年4月より現職のジャパン ファーマ ビジネス ユニット プレジデント。2025年5月に製薬協会会長就任。

**安中 健（厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 課長）**  
平成10年に厚生省入省。その後、年金局、山形県庁、大臣官房、医薬局、内閣官房、保険局などを経て現職に至る。

**中釜 斉（国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長）**  
1982年東京大学医学部卒業。1990年同大学医学部第3内科助手。1991年から米国MITがん研究センター・リサーチフェロー。1995年以降国立がんセンター研究所発がん研究部室長、生化学部長、副所長、所長を歴任。2016年より国立がん研究センター理事長・総長。2025年より日本医療研究開発機構理事長。ヒト発がんの環境要因、及び遺伝的要因の解析とその分子機構に関する研究に従事。分子腫瘍学、環境発がん、がんゲノムが専門。

**新川 浩嗣（財務省 事務次官）**

昭和62年3月	東京大学経済学部卒（財務事務次官）
昭和62年	大蔵省入省
平成元年	アメリカ合衆国・イエール大学留学
平成5年	館山税務署長
平成9年	青森県総務部財政課長
平成18年	金融庁総務企画局企画課信用機構企画室長
平成20年	財務大臣秘書官事務取扱
平成21年	財務省主税局税制第二課長
平成23年	財務省主計局主計官（厚生労働係第一担当）
平成27年	財務省大臣官房文書課長
平成30年	内閣総理大臣秘書官
令和3年	財務省大臣官房長
令和4年	財務省主計局長
令和6年	財務省財務事務次官（現職）